

## 日本中国語学会第70回全国大会プログラム

2020年11月7日(土)、8日(日) 愛知大学(オンライン)

### I. 前日 11月6日(金)

16:00~18:00 理事会 (Zoom)

### II. 第1日 11月7日(土)

13:00~14:30 評議会 (Zoom)

※評議会は例年と時刻が異なりますので、ご注意ください。

学会奨励賞授与

※今年度の学会奨励賞受賞論文はウェブサイト上で発表します。

夕方以降

総会

※総会は学会ウェブサイトを利用した「見なし総会」の形式で実施します。

11月7日(土) 評議会終了後に総会資料と Slack ワークスペースの URL 情報を学会ウェブサイトに掲載します。11月8日(日)~15日(日)の期間中、総会用 Slack ワークスペースにおいてご質問やご意見を受け付けます。

### III. 第2日 11月8日(日)

13:00~14:50 招待講演 (Zoom)

司会 愛知大学

塩山 正純

日中同形語を歴史的に考える——江戸の蘭学文献を史料に

愛知大学名誉教授

荒川 清秀

※講演の聴講に関する情報は学会ウェブサイトでお知らせします。

### IV. 11月8日(日) から 11月15日(日) 正午まで

分科会・ポスター研究発表についての質疑応答 (Slack)

※11月7日(土)に質疑用の Slack ワークスペースについての情報や注意事項などを学会ウェブサイトに掲載します。Slack ワークスペースでの質疑応答期間は11月8日(日)から15日(日)正午までです。

#### ●ポスター研究発表

“着”の“完句成分”に関する研究 (⇒Slack: Group 4)

新潟大学(院) 鄭 瓊花

中国語名詞の場所性について (⇒Slack: Group 8)

立命館アジア太平洋大学 周 振

東北大学 吉本 啓

●分科会研究発表

■第1グループ (Slack: Group 1)

『蒙古字韻』の牀母三等字について	無所属	平田 昌司
『指南玉音解義』中の漢字注音に関する研究	大阪大学 (院)、江蘇師範大学	
		朴 愛華
文献の再建について:『古今字韻全書集韻』を中心に	国立政治大学	呂 昭明
「食」の読音の変遷について	大阪大学 (院)	鳥羽加寿也

■第2グループ (Slack: Group 2)

荊州方言文白异读現象の研究	神戸市外国語大学 (院)	刘 凌霄
吴语萧山方言中“帶”的发现义	京都大学 (院)	葉 晨傑
台湾海陸客語非完整體標記「等 nen <sup>35</sup> 」的特點	中央大学	遠藤 雅裕
閩南語動前「過」——與海陸客家語對比	国立清華大學	劉 秀雪
闽北区方言的 {筲} 义詞	愛媛大学	秋谷 裕幸

■第3グループ (Slack: Group 3)

『鄂羅斯番語』に見られる“了”“力”“拉”の用法について	神戸市外国語大学 (院)	萩原 亮
副詞“到底”的功能扩展机制新说——以祈使用法和疑问用法为中心		
	関西大学	李 佳樑
上古汉语内、外状語的性质及其演变	西安交通大学	丁 丁
動詞「總」語法化探究	国立臺灣師範大學	王 錦慧
描写性臨時量詞“臉”の通時的發展	東京大学 (院)	島 健太

■第4グループ (Slack: Group 4)

句末述謂結構对“让”字句功能嬗变产生的影响	名古屋大学 (院)	高 謙
“让”的影响性用法	山形大学 (非)	吳 蘭
“了1”在连动句中的焦点提示功能及语义生成	お茶の水女子大学 (院)	林 如
言語域の文末助詞“了”の意味記述に関する精緻化	新潟大学 (院)、 広東外国語外貿大学	鄧 宇陽

■第5グループ (Slack: Group 5)

動詞無標形と“会”の基本的な意味	東北大学	王 其莉
現代中国語の副詞“还是”の用法に見られる意味拡張のメカニズム		
	名古屋大学 (院)	孟 醒
“谁/什么”反問句否定語力的成因	保育・介護・ビジネス名古屋専門学校	
		趙 宏剛
プロセスを表す中国語の認知的モダリティの“要”について	東京外国語大学	佐野 洋

■第6グループ（Slack: Group 6）

助動詞と時間詞の位置関係	海上保安大学校	相原まり子
中国語における中間構文の主語の選択制限について—動作主性と責任性を中心に—	名古屋大学（院）	顧 彬楠
現代汉语“最大化删除效应”研究	東北大学（院）	談 沁怡

■第7グループ（Slack: Group 7）

“X 个 Y”形式の成立条件及び語用論的特徴について	名古屋大学（院）	薛 晨
会話における「是不是」質問の機能—話題転換に関する考察—	情報通信研究機構（その他）	劉礫岩
語気詞“嘛”の談話機能—発話レベルから相互行為レベルへ—	名古屋大学（院）	望月 雄介
中国語の「你知道吗」の相互行為的機能の解明	上智大学（非）	陳 力
	九州大学（その他）	吳 青青

■第8グループ（Slack: Group 8）

中国インターネット SEO 検索ツールを使用した日本語借用語判定の試み	苫小牧駒澤大学	山口 莉慧
“球球球我现在不能踢”について	長崎短期大学	青木 萌

●分科会・ポスター研究発表の Slack ワークスペースの分類表

Group 1	Group 2	Group 3	Group 4	Group 5	Group 6	Group 7	Group 8
平田昌司	刘凌霄	萩原亮	高谦	王其莉	相原まり子	薛晨	山口莉慧
朴愛華	葉晨傑	李佳樑	吳蘭	孟醒	顧彬楠	劉礫岩	青木萌
呂昭明	遠藤雅裕	丁丁	林如	趙宏剛	談沁怡	望月雄介	周振
鳥羽昉也	劉秀雪	王錦慧	鄧宇陽	佐野洋	—	陳力	—
—	秋谷裕幸	島健太	鄭瓊花	—	—	—	—

※共同発表の場合は筆頭発表者のみを表示しています。

●書店展示

展示特設サイトで行います。

●参加方法

今年度の大会では参加費は徴収いたしません。